

# 花巻中学校2年2組 理科 展開案

平成23年度11月2日13:30

学 級 2年2組 (男子13名 女子20名 計33名)

場 所 第1理科室

指 導 者 教諭 及川 秀明

1 単元名 1分野 4 「化学変化と原子・分子」 第1章 「物質の変化」

2 展開

段階	学習内容および学習活動	指導上の留意点 (教師の指導○ 評価◎ 研究との関わり☆)
導入  10分	1. 前時の復習をする。  2. 学習課題の確認をする。	○ 自己評価カードを配布する。 ○ カルメ焼きの実験を想起させ、炭酸水素ナトリウムに着目させる。 演示：炭酸水素ナトリウムを実際に加熱してみる。 炭酸水素ナトリウム→ <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">気体</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">液体</span> + <span style="border: 1px solid black; padding: 0 2px;">固体</span> ○ 本時の学習内容を把握させる。
展開	学習課題 炭酸水素ナトリウムを熱すると、どのような物質に変化するのか調べよう。	
35分	3. 課題に対する予想・解決方法を検討する。 (1) はじめは個人で考える。 (2) 次に班で検討する。 (物質、調べる方法)	○ 学習課題に対して個人で予想を立て、その後各班で検討させる。 ◎ 関心・意欲・態度 自ら予想を立て、それを調べる方法を考えることができたか。 ☆【自己決定の重視】 ☆【自己存在感への配慮】
5分	4. 実験を行う。  5. 実験結果をまとめる。	○ 実験手順の確認をする。 ◎ 技能・表現 自分が考えた実験方法で物質を特定することができたか。 ○ 各班で考察させ、模造紙に結果を記入させる。 ☆【自己存在感への配慮】
終末 5分	6. 各班の発表と考察を行う。  7. 本時のまとめを行う。  8. 自己評価カード記入及び家庭学習の指示をする。	○ 各班の結果を発表させる。 ☆【共感的理解への育み】 ○ それぞれの発表結果をもとに学習を振り返らせる。また、分解の一般化を行い、学習内容の定着をはかる。 ○ 家庭学習内容を確認する。水はさらに分解できないかの予告をする。